

採択大学：東京農工大学（強化を図る機能：①、②、③）

連携大学：電気通信大学、東京外国語大学 参画機関：クイーンズランド大学、ハワイ大学マノア校

取組内容の概要

取組の題目：西東京三大学から世界へ展開する食とエネルギーのサステナブルイノベーション

東京農工大学（採択大学）が目指す10年後のビジョン

- 人文社会科学系と自然科学系の大学が連携した「総合知」により、国際的社会課題を率先して解決できる国立大学群を牽引する。
- 世界未来像を実現するために、採択大学と国内・海外連携大学の「知」を集結させ、世界の「産」へと展開できる世界最高水準の研究卓越性とイノベーションエコシステムを兼備し、海外有力大学と比肩する研究力を獲得する。
- 「産学連携で得た資金を基礎研究に還流させることで研究力を強化、さらには教育の充実と質向上へとつなげる」経営方法を確立する。

本取組で解決する課題「国際的求心力」

本取組で強化するポイント

- 研究成果の国際社会実装を支える基礎研究力
- 国際共同研究で得た成果（論文、特許など）をもとにした海外資金獲得力
- 国際社会実装および文理協働研究を牽引できる多様な人材の確保と育成

課題を解決するための戦略

- 海外事業戦略：採択大学と志を同じとする大学群、企業群、政府、民間組織とともに国際産学官連合体を構築し、互いに有効な役割分担・役割連結を進め、研究開発投資効果を最大化する。
- 国内事業戦略：人材育成や経営改革を進め国際事業開発の源泉となる基礎研究力を強化

課題を解決するための計画

- 海外大学を参画機関とし、採択大学のブランチラボである「TUAT Lab.」を設置する。
- 産学官連合体を牽引し、「食」と「エネルギー」に関する研究成果の国際社会実装を推進する。

「3つの基盤の持続性」によるサステナブル社会の実現
西東京三大学の強みを活かした総合知で国際イノベーションを起こす取組を推進



生命の基盤：「食と健康の持続性」

「農工融合学」を基盤とした「総合知」で国際的社会課題を解決

食とエネルギーの西東京国際イノベーション共創拠点（施設整備事業）



グローバルサウス諸国を含むインド太平洋地域において西東京三大学が産学官連合体で社会実装を推進



暮らしの基盤：「エネルギーの持続性」

先進基礎科学技術の統合と実践により「先進エネルギー技術」の創造と構築を進め、「食」に先行してグローバルサウスにおける国際社会実装を図り、イノベーションを加速



共創進化型自立分散エネルギー・ネットワーク 共創拠点（施設整備事業）



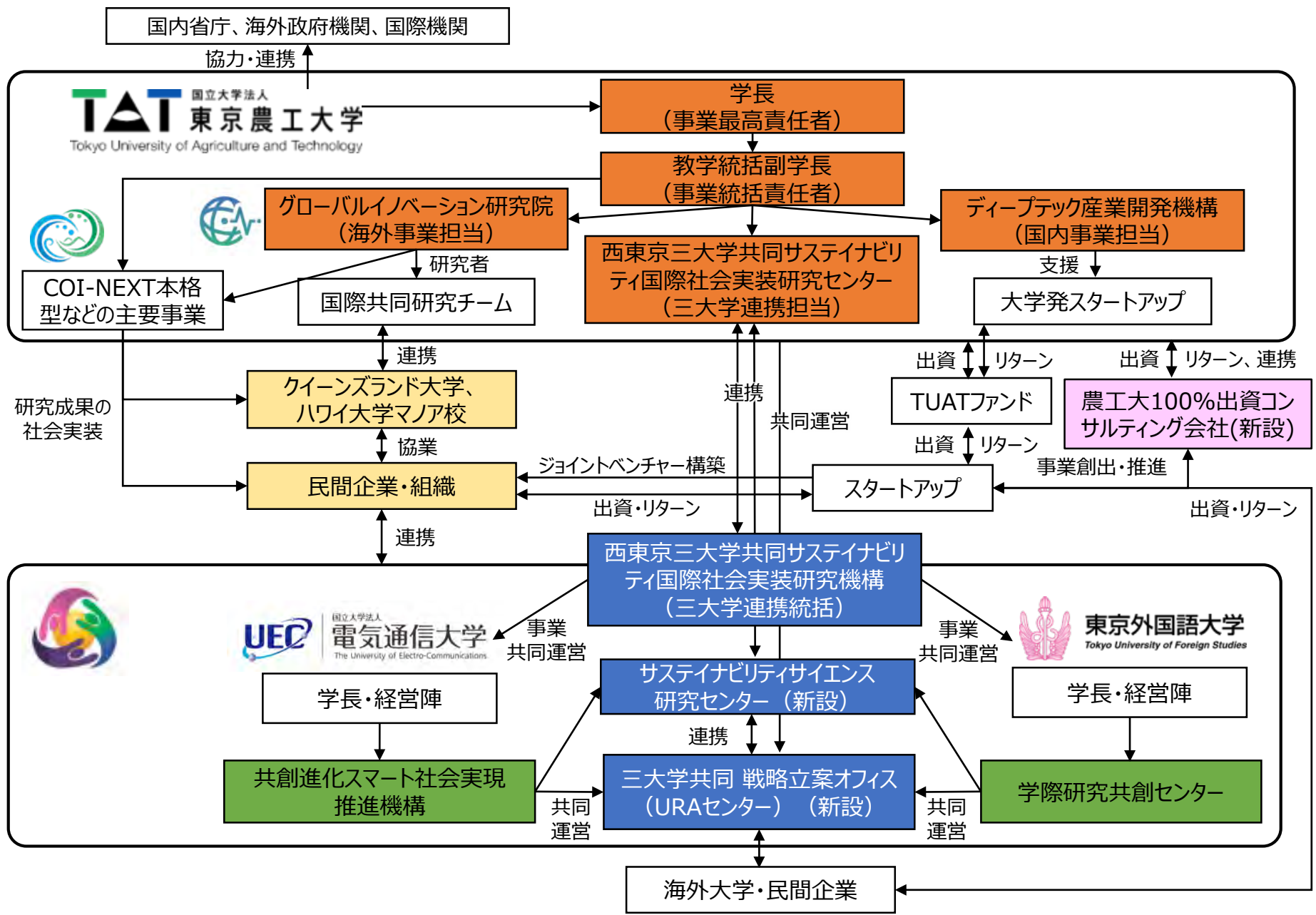
社会的共同・互恵的関係性の基盤：「信頼の持続性」

三大学の国際的展開に対して、人文社会研究の強みと知識・経験を活かし、海外諸地域での事業開発・展開の機会開拓に貢献



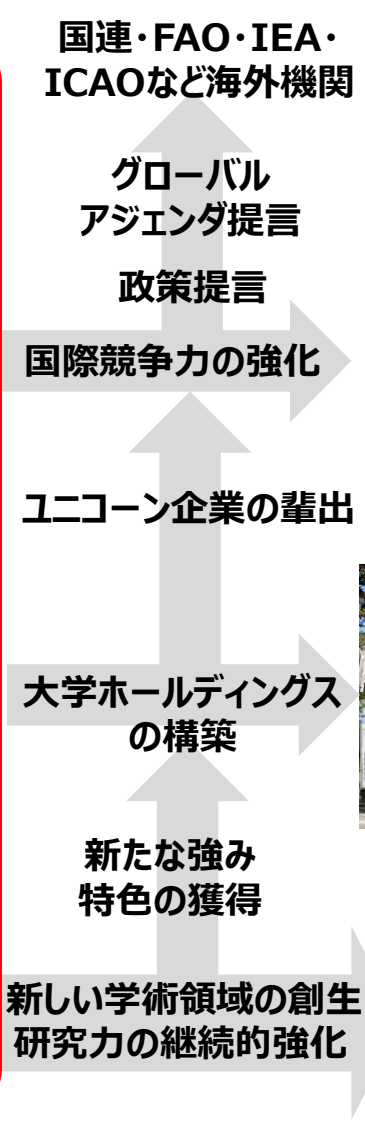
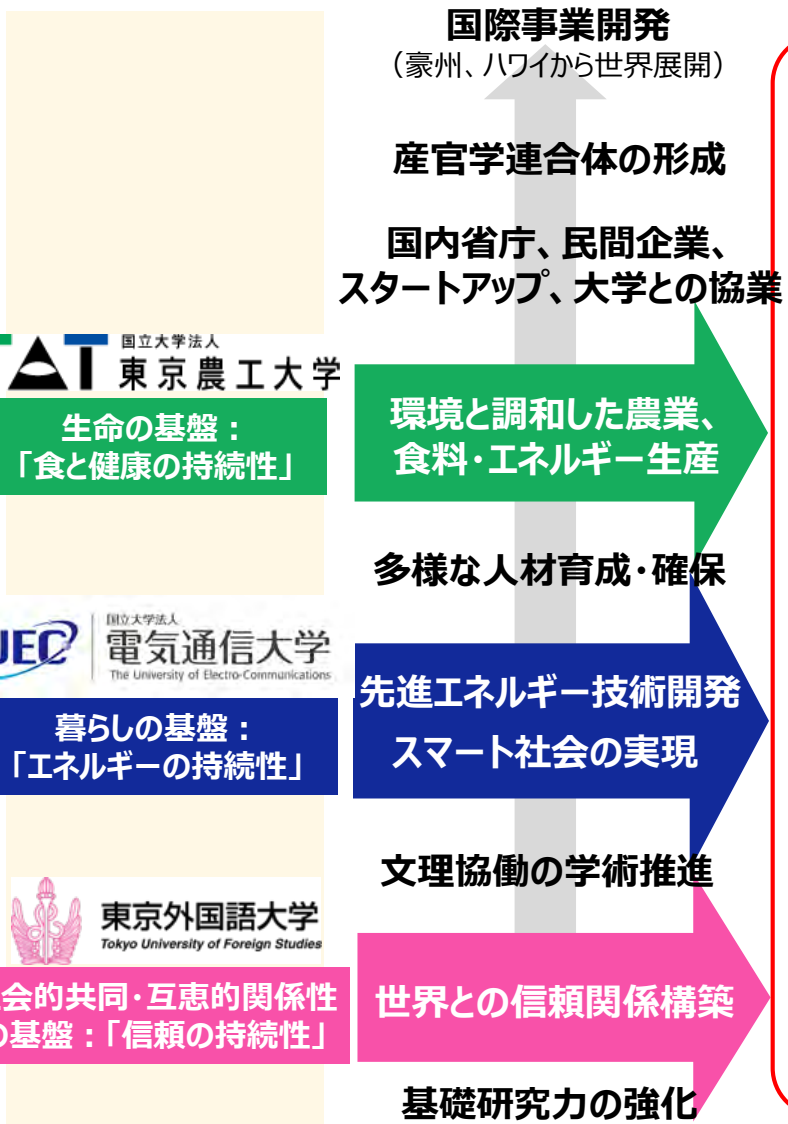
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

実施体制



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

現在 西東京から世界へ展開するフェーズ 5年後 世界を動かす大学群へと成長するフェーズ 10年後 さらにその先へ



マイルストーンの達成

目指す

西東京三大学の基盤

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

世界未来像/大学ビジョン